

熊野町 地域公共交通活性化協議会

令和 4 年度
第 1 回会議

～地域公共交通に関する実態調査について～

2022.5.18

1. 地域公共交通に関する実態調査

1) アンケート調査、実態調査

- 普段の移動や公共交通による移動実態を把握することに加え、**新たな需要の取り込み**や**移動手段を確保すべき最低限の移動ニーズ**を把握するための実態調査を行います。

対象者

調査の狙い

重要な視点



住民

日常の移動状況、公共交通の利用状況、利用意向、満足度、問題点等

取りこぼしの需要、隠れた需要を把握
(公共交通が利用されない本質的な要因を把握)

例：今のバスは“家や目的地の近くを通らない”、“時間が合わない”、“迂回するため時間がかかる”ため乗れない・乗らないなど

- **新たな需要を取り込む交通を検討**
(例：現在、送迎や自転車の利用者)



バス利用者

バスの利用実態、満足度、問題点等

バスに乗る前や降りた後の移動状況を把握
(バス停までの送迎やP&Rの状況を把握)

- **今より便利な交通を検討**
(例：アクセス・イグレスや乗継など)



おでかけ号
利用者

バス停及びバス停間利用者

おでかけ号利用者の属性を把握
(性・年代、利用時間帯を把握)

- **おでかけ号により最低限の移動が確保されている利用者の特性を把握**

1. 地域公共交通に関する実態調査

2) ヒアリング調査

- **交通事業者ならではの視点**から、現状の問題点や改善点を把握します。
- また、**今後の公共交通のあり方を考える上での連携方法**等を検討するために、交通事業者や地域の主要施設へのヒアリング調査を実施します。

	対象者	調査の狙い	重要な視点
交通事業者	広電バス (熊野営業所)	利用動向、利用要望、改善点、 要望、交通事業の展望等	利用者の属性 待合施設の利用状況・過ごし方 (交通結節点として求められる機能)
	おでかけ号 タクシー会社(2社)	利用動向、利用要望、改善点、 要望、交通事業の展望等	おでかけ号利用者の属性 タクシー利用状況や利用者属性

主要施設

商業施設
教育機関
病院・福祉施設
自動車学校

来訪者のバス利用動向、利用者
要望、改善点等

調査票の配布

- ・左記の内容
- ・送迎バスの有無
- ・車両・人員の連携可能性
- ・サービスとしての連携の可能性



ヒアリング調査を実施 (5社程度)